

BPニユースセレクト

アジア市場に照準を合わせて日本のクリエイターが企画した低価格スマートフォン(スマホ)が2016年春に登場する。日本人が率いるベンチャー企業のGoote(本社・シンガポール、CEO・横地俊哉氏)が発表した「KAZE01」(K01)と「KAZE02」(K02)の2機種だ。価格はK01が1600円、



16年春に発売する「KAZE01」(K01)と「KAZE02」(K02)

日経テクノロジーonline アジアへ低価格スマホ

で構築したという。

K02は1400円の予定。

K01とK02の筐体(きょうたい)とユーザーインターフェース(UI)の設計は、日本のクリエイターが手掛ける。UIについては、ホーム画面やアイコンのデザイン、および着信音や起動音などの音源を、日本で活躍するデザイナーや音楽家が独自に作成する。製造と販売は、中国Kingtech Mobileが担う。インドやインドネシアなどのアジア諸国を中心に約10の国・地域で発売し、年間30万~50万台の販売を予定する。日本でも16年春以降に発売する。

これらのスマホには、販売先の各国・地域に合わせたニュースなどを配信するアプリケーション(アプリ)「LOUCUS」と、日本の最新トレンドやコンテンツを配信するアプリ「GOME JP」をあらかじめインストールする。